

高次脳機能障害作業療法（講義）

【科目名】 高次脳機能障害作業療法(講義)		【担当教員】 北上 守俊							
【授業区分】 専門分野 (作業療法評価学)		【授業コード】 4-22-0855-0-1		(メールアドレス) kitakami@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】 2 年次 後期		【選択必修】 必修							
【単位数】 1		【コマ数】 8 コマ		(オフィスアワー) 木曜日 13:00～18:00					
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし									
【講義概要】 (目的) 失行・失認・失語などの各種高次脳機能障害の各種検査及び観察の技術とその結果の考え方について学修することを目的とする。 (方法) 教科書と配布資料などによる高次脳機能障害評価の演習が中心となる。									
【一般教育目標(GIO)】 ・高次脳機能障害のそれぞれの評価項目を列挙できる。 ・各検査方法の手順等を説明できる。 【行動目標(SBO)】 ・実際の症例に対して評価のシミュレーションができる。 ・問題点を挙げるができる。									
【教科書・リザーブドブック】 能登真一（編）・『高次脳機能作業療法学』標準作業療法学 専門分野 医学書院，2012. ¥3,800（税別）									
【参考書】 鎌倉矩子ら（著）・『高次脳機能障害の作業療法』 三輪書店，2010. ¥4,800（税別） 鈴木孝治（編）・『高次脳機能障害作業療法学』メジカルビュー社，2012. ¥4,200（税別）									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 ・試験 70%、小テスト 30%の割合で総合的に判定する。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポर्टフォ リオ	参加態 度	合計
総合評価割合		70	30	0	0	0	0	0	100 点
評 価 指	取り込む力・知識	70	30	0	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 26～28 年度入学者用

標	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法				学修課題(予習・復習)		時間(分)	
1	高次脳機能障害に対する臨床症状と評価法の基本的知識	講義				資料を配布する		60分	
2	・注意障害の臨床症状を把握する ・注意障害の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.47-55		60分	
3	・記憶障害の臨床症状を把握する ・記憶障害の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.82-97		60分	
4	・失認の臨床症状を把握する ・失認の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.228-232		60分	
5	・失行の臨床症状を把握する ・失行の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.330-340		60分	
6	・遂行機能障害の臨床症状を把握する ・遂行機能障害の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.369-382		60分	
7	・言語障害の臨床症状を把握する ・言語障害の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.132-133		60分	
8	・視空間認知障害の臨床症状を把握する ・視空間認知障害の評価法とその解釈を理解する	講義・実技				教科書 p.166-176		60分	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。